

令和2年度 第11回治験審査委員会 結果報告

1. 日時 令和3年3月19日(金曜日) 午後5時00分～午後5時15分
2. 場所 玄関棟3F 第3会議室
3. 出席委員名
杉山 保幸、笠原 千嗣、神田 香織、棚橋 利行、水井 貴詞、安田 昌宏、
島塚 裕美子、疋田 宗義、加藤 一義、安藤 征治、後藤 敏彦
4. 議題及び審議結果を含む主な議論の概要
 - 1) 以下の新規申請(治験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
申請なし
 - 2) 以下の新規申請(製造販売後臨床試験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、製造販売後臨床試験実施の妥当性について審議した。
申請なし
 - 3) 以下の新規申請(自主研究)において、自主研究実施の妥当性について審議した。
申請なし
 - 4) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験期間が1年を超えるため、試験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験 (アステラス)

(アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とする ASP2215 の第Ⅲ相試験)

審議結果：承認

委託研究

(完全切除非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセド+シスプラチン併用療法とビノレルビン+シスプラチン併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験)

審議結果：承認

- 5) 以下の治験において、当院で発生した重篤な有害事象に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

治験 (アステラス)

(アステラス製薬株式会社の依頼による未治療の急性骨髄性白血病患者を対象とした第Ⅳ相試験)

審議結果：承認

- 6) 以下の製造販売後臨床試験において、当院で発生した有害事象に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。
報告なし

7) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、国内・国外で発生した重篤な副作用について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

治験 (アステラス)

(アステラス製薬株式会社の依頼による未治療の急性骨髄性白血病患者を対象とした第 I/II 相試験)

審議結果：承認

治験 (アストラゼネカ)

(アストラゼネカ株式会社の依頼による肝細胞癌患者を対象とした Durvalumab の第III相試験)

審議結果：承認

治験 (日本イーライリリー)

(日本イーライリリー株式会社の依頼による NASH 患者を対象とした LY3298176 の第2相試験)

審議結果：承認

治験 (ノバルティスファーマ)

(ノバルティスファーマ株式会社の依頼による骨髄異形成症候群を対象とした MBG453 の第II相試験)

審議結果：承認

治験 (パレクセル・インターナショナル)

(パレクセル・インターナショナル株式会社 (治験国内管理人) の依頼による第 I/II 相試験)

審議結果：承認

8) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、変更申請及び添付資料に基づき、引き続き試験を行うことの妥当性について審議した。

治験 (アステラス)

(再発又は難治性急性骨髄性白血病(AML)及び再発又は難治性高リスク骨髄異形成症候群(MDS)患者を対象とした ASP7517 の安全性、忍容性及び有効性を検討する第 1/2 相非盲検試験)

審議結果：承認

治験 (アストラゼネカ)

(アストラゼネカ株式会社の依頼による肝細胞癌患者を対象とした Durvalumab の第III相試験)

審議結果：承認

治験 (日本イーライリリー)

(日本イーライリリー株式会社の依頼による NASH 患者を対象とした LY3298176 の第2相試験)

審議結果：承認

治験 (ノバルティスファーマ)

(ノバルティスファーマ株式会社の依頼による骨髄異形成症候群を対象とした MBG453 の第 II 相試験)

審議結果：承認

治験 (MSD)

(MSD 株式会社の依頼による MK-3655 第 II 相試験)

審議結果：承認

治験 (ファイザー)

(ファイザー株式会社の依頼による PF-06865571 および PF-05221304 の第 II 相試験)

審議結果：承認

委託研究

(完全切除非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセド+シスプラチン併用療法とビンOREルビン+シスプラチン併用療法のランダム化比較第 III 相試験)

審議結果：承認

9) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験の終了（中止）報告がされた。
報告なし

10) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、その他の報告がされた。
報告なし